

2009 年度事業・活動報告に関する件

1. 組織の運営

- ・ 会員は、48 団体（加入 6、脱退 15）、個人 93 名（加入 6、脱退 22）となっています。団体加入は、相談対応団体に参加をすすめたこと等によります。個人会員は減少傾向にあります。（会費を 3 年未納の場合は脱退としています）
- ・ 理事会を定例理事会年 4 回、臨時理事会 2 回開催しました。
 - 6/18：年間事業計画、9/9：中間点検、12/17：今年度まとめ、2/27 臨時：一歩くん募金助成団体決定、3/17：次年度計画、5/13 臨時：総会議案
- ・ 団体の事業や計画を執行するという理事会本来の役割を実現できるように理事会メンバーを中心としたプロジェクトを設置し、事業を推進しました。
 - ちばのWA！運営協議会（地域資源循環システム、公益ポータルサイト）
 - ちばのWA！基金運営委員会（一歩くん募金助成）
 - 市民参加・協働プロジェクト（「市民参加・協働のための次の一歩セミナー」1 回開催）
 - NPO 専門家相談ネットワーク（NPO 相談の課題共有、相談対応へのアドバイス）
 - メーリングリストで常時、情報交換するとともに、年 2 回ネットワーク会議を開催しました。
- ・ 第 9 回定期総会と同日に、理事会主催事業として 10 周年記念講演会・レセプションを開催しました。これまで NPO クラブを支え関わっていただいた方々と、今後の方向性についても意見交換をし共有する場としました。
- ・ 団体の立ち上げ、NPO 法人設立、会計などの相談者には、会員加入を促し、継続したサポートを実施しました。
- ・ 事務局は 19 名（市民活動センター&ボランティアズカフェ専任スタッフ 11 名を含む）の体制で運営しました。

2. 相談事業・NPO の支援事業

相談事業

- ・ 事務所で日常的に相談を受け付け、「会計」「事業報告書の作成」「活動団体の紹介」「法人の運営」などの相談に対応しました。また、「会計」や「運営相談」などは、千葉市民活動センターでの相談会につないで対応しました。（市民活動センターでの相談受付も合わせて、年間で 208 件の相談を受け付けました）
- ・ NPO 専門家相談ネットワークは、税理士、会計士、社会保険労務士、弁護士等の専門家メンバーを中心に組織し、NPO クラブ事務所や千葉市民活動センターでの NPO からの相談対応の内容を共有し、より良い対応ができるようにしました。
- ・ NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センターに協力して、障害者自立支援法新サービス体系移行に関する相談 14 件に対応（会計、法人設立など）しました。
- ・ 佐倉市市民公益活動サポートセンターの相談会（10 月、12 月に開催）で相談対応を行いました。
- ・ NPO 法人会計基準協議会に参加して、「NPO 法人の会計基準をつくろう！in ちばー市民参加型でつくる「NPO 法人会計基準」意見交換会」を開催しました。

千葉市民活動センター&ボランティアズカフェの運営

- ・千葉市の委託事業として、前年度から継続して運営しました。千葉市民活動センターでは、前年度実施した企画事業（「知っていますか、この施策」「昼だまり広場」「分野別団体情報揭示」「千葉市民活動フェア」等）を見直し、充実させることを目指しました。また、新たに「ぼのぼの広場」を企画開催、第1回として千葉市内の14福祉作業所の製品の販売をしながら、事業内容を紹介しました。
- ・千葉市民活動センターの事業として、NPO・ボランティアのためのハンドブック「はじめよう！市民公益活動」「市民公益活動団体リスト」「ボランティア募集ガイド2010」を編集、作成しました。
- ・千葉市ボランティアズカフェでは利用者を増やすことを目的に、「ボラカフェ通信」の定期的な発行や「ボラカフェサロン」「写真展」を開催しました。

講座、講師派遣事業

- ・NPO応援講座、10周年記念講演会、市民参加・協働のための次の一步セミナーなど20講座を開催し、参加人数は合計436名でした。
- ・NPO応援講座を企画運営し、NPOが互いに学びあう場をつくりました。「ブログ活用」「事業報告書作成」「NPOの会計」「リスク管理」「資金調達」「NPOの税務」などを開催しました。
- ・専門性を持ったNPOと連携して、「自己表現トレーニング基礎Ⅰ・Ⅱ」を開催しました。
- ・NPO法人千葉県障害者就労事業振興センターと共催で、福祉施設商品の企画・販売力向上講座「オンリーワン商品の作り方」「オンリーワン商品の見せ方&売り方」を開催しました。
- ・トヨタ財団からの要請を受けて、トヨタ財団「地域社会プログラム」公募説明会を開催しました。
- ・NPO法人地域創造ネットワークちばと協力し、団塊シニアの市民活動支援のための体験研修を企画・運営しました。
- ・NPOと行政との協働に関する研修会の企画、講師派遣を行いました。

地域資源循環システムちばのWA！事業

- ・2009年2月に開設した「公益ポータルサイトちばのWA！」の充実をはかるため、NPOへの登録呼びかけ、企業ヒアリングなどに努めました。
- ・企業、自治体、NPO等をメンバーとする「ちばのWA！運営協議会」を3回開催しました。
- ・事業に関連して「NPOのブログ活用講座」「NPOの資金調達セミナー」「一歩くん募金助成説明会&団体登録サポート会」などを開催しました。
- ・物品提供システム「NPO三尺店」では県内の企業3社、2団体、1個人より事務什器、消耗品等の提供を受け、13団体に148点を引き渡しを行いました。
- ・県NPO活動推進課（現県民活動・文化課）の事業「ちばのWA！」のリーフレット作成（8,000部）に協力しました。
- ・アリオ蘇我「学びと遊びの工作クラブ」では、コーディネーターとして係わり、県内の子ども関連、環境関連団体による活動のアピールとして、10月より毎月1回開催しました。6団体が実施し、合計559名の参加がありました。
- ・リコーテクノシステムズ株式会社千葉支部の推薦を得て、リコー社会貢献クラブ・Free Will からモバイルパソコン購入とブログ講座開催費用として20万円の助成を受けました。

公益ポータル推進事業

- ・ I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] が主催する「地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクト」に参加し、全国の中間支援組織との情報共有、意見交換を行うとともに、関東ブロック会議を2回開催、NPOの団体情報開示の重要性、現状のサイト運営についての課題等、県域を越えたメンバーで共有しました。

3. NPOと地域のためのコーディネート事業

内閣府 地方の元気再生事業「地域力増進・協働型まちづくりホスピタル事業」

- ・ 印旛郡栄町と千葉市花見川区幕張で、地域の活性化を進めるための事業を行いました。印旛郡栄町では、市民事業の起業をテーマに連続ワークショップを開催、4つの事業が立ち上がりました。千葉市花見川区幕張では、幕張駅前の商店主や市民活動団体等をメンバーにしたミーティングを継続して開催、商店街の情報を掲載した冊子「幕張で歩こう！話そう！マクウォーク」を編集、発行しました。単年度事業ということもあり、大きな実績を作ることはできませんでしたが、地域活性化の「きっかけづくり」ができたと言えます。
- ・ 地域づくりを担う人材養成を目的に「地域づくり匠道場」を企画し、「ファシリテーション技術養成コース」、「地域プロデューサー養成コース」各4回の連続セミナーを開催、県内市町村担当者、NPO、市民が受講しました。
- ・ 地域づくり見本市1/23「市民のチカラでまちは変わる」を開催、まちづくり10団体のパネル展示とパネルディスカッションを実施し80名の参加がありました。

景観フォーラム

- ・ 「景観まちづくり千葉協議会」を継続して開催、県との協働事業「景観を大切にしたまちづくりフォーラム」を市原市「米沢の森を考える会」の協力で11月に開催、午前中は里山の散策、午後はグループに分かれて意見交換をし、90名の参加がありました。

市民参加・協働のための次の一步セミナー

- ・ 市民参加協働プロジェクト会議を3回開催しました。第3回セミナー「市民提案と行政支援のあり方と現状—協働事業提案制度を上手に使うためには」を6/30に開催、自治体・NPO・市民50名が参加しました。

浦安市市民活動センターへのコーディネーター派遣

- ・ 施設の運営体制の強化、利用者サービスの向上のためのセンター管理運営について、4月から9月まで週1回コーディネーターを派遣し、アドバイスをを行いました。その後、センター運営に関わったメンバーで中間支援団体「NPO法人浦安まちづくりネット」を設立しています。

NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

- ・ 地域創造ネットワークちばとの委託契約に基づき、事務局業務を執行しました。
- ・ 理事会は4/21、7/22、9/30、臨時10/28、1/27、3/24に開催しました。総会を11/25に開催しました。
- ・ 平成21年度千葉県団塊世代等地域デビュー支援事業を県から受託し、広報事業（ホームページ、メ

ルマガに事業内容の掲載)、ネットワーク構築事業、地域活動参加体験事業「出会いフォーラム」(県内5地域で開催、体験研修参加者延べ101名)に取り組みました。

- ・ 情報誌「それ！YAPPE」第6号・7号(自主発行)を企画・編集し30,000部発行、県内公共施設、京成駅頭等で配布しました。
- ・ NPO法人地域創造ネットワーク・ジャパンと協力して、「ライフサポーター養成研修」9/25～9/27を実施しました。
- ・ NPO法人NPO事業サポートセンターが受託した「農商工連携人材育成事業」に協力し、地域のソーシャル・キャピタル調査事業「ちばおもしろ農業マップ」の企画編集をしました。

4. 広報事業

- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」(32号～35号)を年4回発行し、会員のほか、県内外の市民活動センター・中間支援団体等に配布しました。紙面は、NPOなんでも相談、NPO応援講座のポイント報告、講座案内等で構成し、毎回1,000部発行しました。
- ・ ホームページの更新は適時行い、講座案内や申込み、会員紹介など早めの対応を行いました。
- ・ 掲載する情報を会員から広く募集し、メールマガジン「通信・一步くん」を月2回配信しました。
- ・ 「公益ポータルサイトちばのWA!」、団体ブログ「NPOクラブの愉快的仲間たち」を適時更新しました。

5. ちばのWA!基金「一步くん募金」(市民活動支援基金)

- ・ 2009年度の寄付総額は2,650,038円でした。
- ・ 2009年度「一步くん募金」助成は、「公益ポータルサイトちばのWA!」の登録団体を対象として11～12月に募集を行いました。26件の応募があり、1/28に第一次選考会を開催し、8団体を通過としました。2/27に公開選考会を開催し、5団体に総額2,000,000円の助成を決定しました。
- ・ 登録団体を増やすために「一步くん募金助成説明会&団体登録サポート会」を2回開催したほか、電話や事務所での登録サポートを行いました。その結果、登録団体が11団体から36団体に増えました。
- ・ NPOクラブ融資制度の存続について6月・9月の理事会で討議を重ね、12月の理事会で「2010年3月末をもって廃止」を決定しました。

6. 他団体との連携・協力事業

- ・ 生活クラブ千葉グループ連絡協議会に参画し、グループ紹介パンフレット作成に協力しました。
- ・ ちばNPO協議会幹事会では県内NPOの課題解決のために協力し、県議会議員とのNPO学習会を2回開催しました。また12/1に「ちばNPO会議」を開催しました。
- ・ 千葉県NPO支援組織ネットワーク会議に参加し、県内18市町村が設置する市民活動センターとの連携をすすめ、スタッフ研修会への参加と講師派遣を行いました。
- ・ 千葉県NPO活動推進委員として参画しました。
- ・ 市原市、栄町、千葉市の委員会等に、市民・NPOの立場で関わりました。